

2020年06月23日(火)【外為Lab】松田哲

タイトル:【トランプ大統領は再選されるか?】

トランプ大統領への批判が高まっている。

新型コロナウイルスへの対応策が十分ではなかった、あるいは、もっとはっきり言えば、その対応策が間違っていた、とする批判の声は、大きいと感じる。

そして、「黒人男性の暴行死」に起因する人種差別抗議デモへの対応でも、トランプ大統領は、大きな反発を受けている。

先週には、メアリー・エリザベス・テラー国務次官補が、  
「人種差別や黒人に対する大統領の発言や行動は、自身の基本的価値観や信念に反する」  
として、  
「自身の良心に従い、辞任する」  
と表明した。

テラー氏は、トランプ政権に忠実な高官とみられていた。

つまり、政権内部からも、批判が高まっている様子が見えてくる。

さらに、ボルトン前大統領補佐官が、テレビのインタビューに応じ、  
「トランプ大統領は、基本的な知識に欠け、重要な政策を、自らの再選に有利かどうかだけで決定している」  
と批判した。

そして、  
「1期だけの大統領であることを願う(=再選されないことを望む)」  
と述べた。

ボルトン前大統領補佐官は、その政権内部の内幕を描いた回顧録を出版する予定。

だから、今回のインタビューは、その宣伝だろう、とも考えるが、いずれにしても、多方面から、トランプ大統領への批判が高まり、大統領選挙での再選に、黄信号が点灯していることも事実、と思料する。

個人的な感情では、トランプ大統領の再選には、拒否反応を示す。

トランプ政権の採った政策には、賛同しかねるものが多い。

ただし、トランプ大統領が、強引である故に、米国が、外交面で、イニシアティブを取ってきたことも事実だろう。

トランプ大統領が再選されない場合は、それ相応の混乱も予想されるだろう。

金融政策に関しては、トランプ大統領が、強引に金利を引き下げ、株価を高値に導いていることも指摘できる。

トランプ大統領が再選されない場合は、金融政策に対する不当な介入も緩和されるのだから、最終的には、良い方向に向かうとしても、大統領選挙の前後では、混乱する可能性は高い、と考えている。

これから 11 月の大統領選挙まで、まだ、紆余曲折があろうが、もう、その日まで、半年を切ったことも意識しておく必要がある、と考えます。

+++++

(2020 年 06 月 23 日東京時間 13 : 20 記述)